

絵を描いてみよう

白紙にペンや色鉛筆で絵を描くような感覚で絵が描けます。
自由に絵を描くことができ、生徒の創造性を十分に引き出した作品を作ることができます。

●事前準備する資料

- 特に無し
※被写体を用意または被写体の写真などを用意します。

●操作手順

- ① 紙を用意しよう ▶
- ② ペンを操作しよう ▶
- ③ ぶどうを描こう
- ▶ ④ 作品を飾ろう ▶
- ⑤ 印刷をしよう



第2章

70 絵を描いてみよう ① 紙を用意しよう

▶ 白紙を用意しよう



1 ツールバーの[白紙]をクリックします。

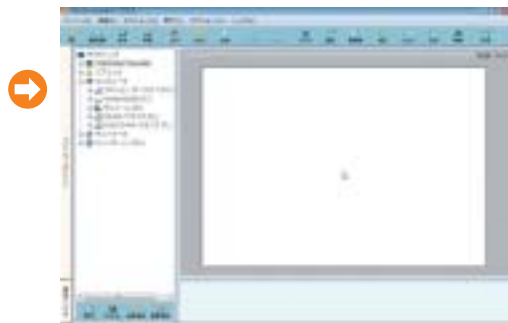


2 [サイズ設定] ウィンドウが表示されます。

A4サイズの横向きで作品を作ります。

[A4横]にチェックマークをつけ、[OK] ボタンをクリックします。

3 画面に横向きの白いキャンバスが表示されます。



▶ ペンの色を選択して絵を描いてみよう



1 ツールバーの[装飾]をクリックします。



2 [セクション選択] 画面が表示されます。

[描画] をクリックします。



▶ 色を作ります



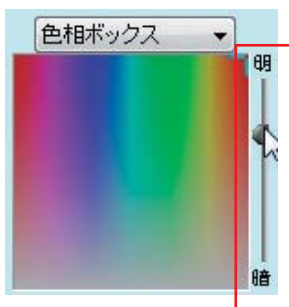
例 ぶどうの粒の色を作ります。

1 [色相ボックス]を選択します。

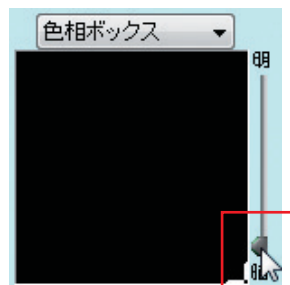
色相ボックス

オーロラのように表示された色相から、利用する色の部分をクリックして色を選択します。明暗バーを調整することにより同じ部分でも異なった色を設定することができます。「黒」にするときは明暗バーのツマミを「暗(1番下)」にします。

補足



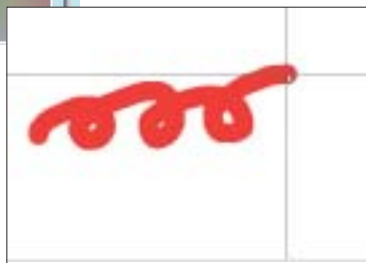
2 明暗バーを調整して、紫色を作ります。



「黒」にするときは明暗バーのツマミを「暗(1番下)」にします。



3 色が作れたら、色相ボックスにカーソルを合わせクリックします。
[ペンの形状]に選択した色が反映されます。



キャンバスにカーソルを合わせ、左ドラッグをすると絵を描くことができます。

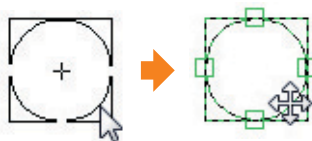


描いた絵を消すときは、右ドラッグをすると消しゴムと同様で描いた絵を消すことができます。

▶ 領域選択を使って [円] を描こう



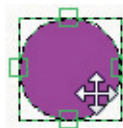
1 [領域選択] をクリックし、[円形] を選択します。



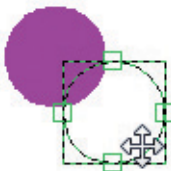
2 キャンバスの中心辺りでドラッグし、ぶどうの粒くらいの大きさの領域を作ります。



3 [塗りつぶし] をクリックすると、領域選択内が塗りつぶされます。

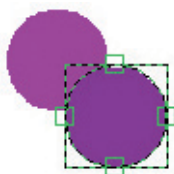


4 領域選択内へカーソルを合わせ、ドラッグをすると[領域]を移動することができるので、3で作成した粒に少しかかるくらいの場所に円の領域を配置します。





- 5 パレットから再度、紫色を選択するのですが、先ほどより、若干明るい紫色または暗い紫色を作ります。(粒に光の加減を作るためです)



- 6 [塗りつぶし]をクリックし、粒を作ります。



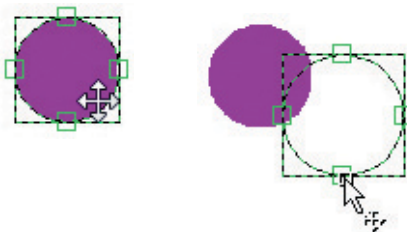
- 7 4～6の工程を繰り返し、ぶどうの形を作ります。
10～15粒ほど作ると形になっていきます。

POINT!

円形の領域の大きさを拡大、縮小すると立体的な作品を作ることができます。

【領域範囲の変更方法】

- ①領域範囲の四隅の[□]にカーソルを合わせます。
カーソルの後ろに[↕]の矢印が表示されます。
- ②ドラッグをすると大きさが変わります。



▶ 粒に影を作ろう



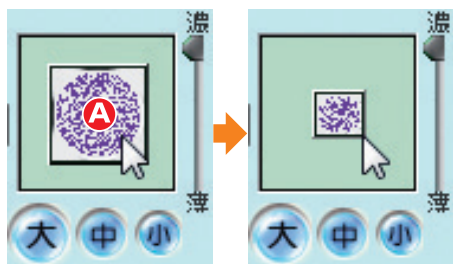
1 【フリーハンド】をクリックします。



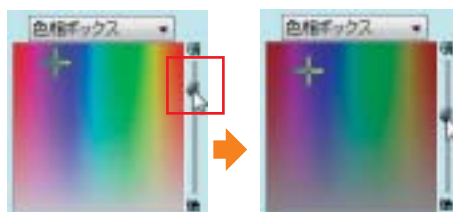
2 ペンの種類を設定します。【ペン選択】をクリックします。



3 【ペン選択】ウインドウが表示されるので、【ブラシペン】を選択します。



4 ①にカーソルを合わせてドラッグをし、ペンの太さを【円】より小さめに設定します。
(①はペン先の太さを表しています)



5 影の色を作ります。明暗バーを調節して粒の色より濃い紫色を作ります。



6 粒の右下に色をつけ影をつけます。

粒の右下周辺をドラッグすると、ブラシでなぞったように描画することができます。

すべての粒に影をつけます。



ブラシペンの描画イメージ

絵の具のついた歯ブラシで金網を擦って絵の具を散布させたような効果を出すことができます。

▶ 粒に質感を出そう



1 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。

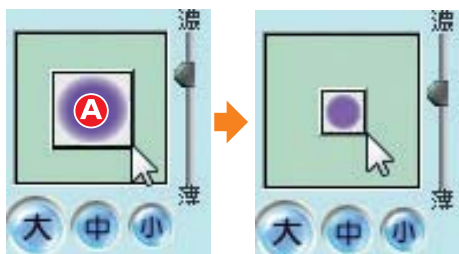


[やわらかペンV2]を選択します。



第2章

76 絵を描いてみよう ③ ぶどうを描こう



- 2 ①にカーソルを合わせてドラッグをし、ペンの太さを粒より小さめに設定します。



- 3 色相ボックスから【白】を選択します。明暗バーのつまみを【明】へスライドし、【白】を選択します。



- 4 粒の左上にカーソルを合わせ、一度クリックします。
【やわらかペン(V2)】の効果で、ぶどうの粒に光が射しているように見えます。



やわらかペン(V2)の描画イメージ

乾いていない紫色の絵の具の上に、水で溶いた白い絵の具を垂らしたような効果を出します。

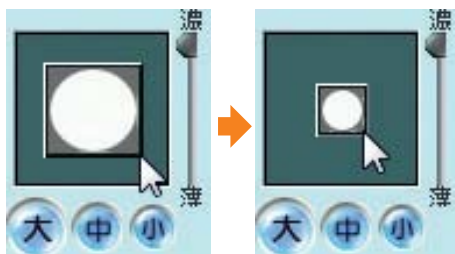
▶ 枝の部分を描こう



1 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。



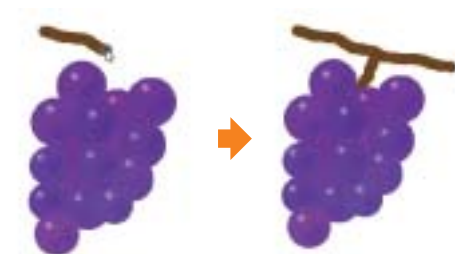
2 [ペン選択] ウィンドウが表示されるので、[普通のペン]を選択します。



3 ペンの太さを、イメージしているぶどうの枝の太さに設定します。



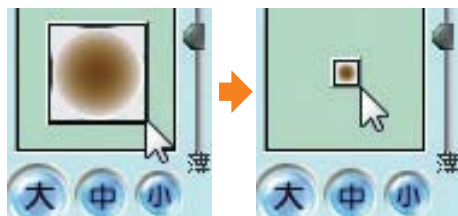
4 色相ボックスから明暗バーを調節し枝の色(茶色)を作ります。



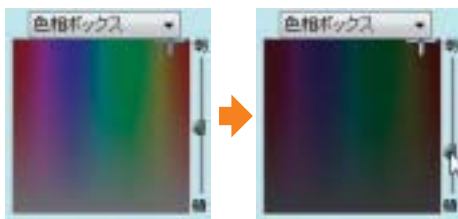
5 キャンバスのぶどうの上部(枝がある部分)にカーソルを合わせ、枝を描画します。



6 [ペン選択]をクリックします。[ペン選択]ウインドウが表示されるので[やわらかペン]を選択します。



ペンの太さを細く調整します。



7 色相ボックスから枝より濃い茶色を作ります。

やわらかペンの描画イメージ
 隈取(くまとり)筆に水で溶いた絵の具を含ませ軽く描画をするような効果を出すことができます。

8 枝の影の部分を描画します。
 描画が終わったら完成です。



▶ 印刷をしよう



- 1 ツールバーの【印刷】をクリックします。
- 2 印刷の画面が表示されます。
- 3 【プリンタ名】を設定します。【▼】をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。
※変更しない場合は、設定をする必要はありません。
- 4 【用紙サイズ】を設定します。【▼】をクリックし、用紙のサイズを選択します。
ここでは【A4】サイズに設定します。
- 5 【給紙方法】、【用紙種類】は任意の設定を行います。
- 6 用紙の向きは【印刷設定】ボタンをクリックし、お使いのプリンタの【プロパティ】から設定をしてください。
ここでは横で印刷を行うので、プロパティから設定をします。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。



- 7 印刷の配置は【内接】をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

補足

内接とは...

設定された用紙に対して、画像が用紙からはみ出さないように、縦または横の辺の内、どちらか長い辺を基準として画像を自動的に配置します。なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方に余白が発生することがあります。

外接とは...

設定された用紙に対して、余白が発生しないように、縦または横の辺の内、どちらか短い辺を基準として画像を自動的に配置します。なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方は印刷領域を超えて配置するため、一方の画像の端が切れた状態になることがあります。



- 8 【印刷開始】をクリックし、【はい】を選択すると印刷が開始されます。

▶ 保存をしよう



1 ツールバーの【保存】をクリックします。



2 【名前を付けて保存】ウインドウが表示されます。

3 【保存する場所】の【▼】をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

例 ドキュメントに保存します。

4 【ファイル名】はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

例 「ぶどう」とつけます。

5 作品の保存形式を【ファイルの種類】から選択します。

【JPEG (*.jpg)】形式で保存をします。

保存形式についての解説は144ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

6 【保存】をクリックします。

保存(S)

7 【JPEG保存】ウインドウが表示されます。

品質の数値は通常[70]で劣化すること無くに保存できるので、このまま【OK】をクリックします。



写真に文字を入力した場合は、品質の数値は90以上で保存をしてください。文字入力時に数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がギザギザになります。

補足